

令和4年9月に発生した農作業死傷事故 11月のワンポイント 農林水産省HP等による公表

タイトル

農閑期こそ農作業安全の意識向上を！
(9月に発生した農作業死傷事故と11月のワンポイント)

<9月に発生した農作業死傷事故:36件>

農業機械作業に係る死傷事故:31件

うち コンバイン 8件

乗用型トラクター 6件 ほか

その他の死傷事故 :5件

- 9月は13件の死亡事故を含む36件の死傷事故が報告されました。
- 報告された事故のうち、コンバインによる事故が8件で最多となっており、内訳として、転落・転倒が4件、巻き込まれが3件となっています。
- コンバインの転落・転倒事故は、収穫作業中に多く発生しています。グレインタンク内に靱があるとコンバインが傾きやすくなるため、ほ場から出る際など傾斜地ではタンク内を空にする必要があります。
- また、巻き込まれ事故は、詰まりを除去する際に多く発生しています。コンバインに限らず、機械を調整する時は、必ずエンジンを停止してください。

<11月のワンポイント>

- まもなく農閑期となり、集会や地域で話し合う機会が増えてきます。
- 地域の農家が集まる機会を活用し、農作業安全について話し合うなど、農作業安全の意識向上に取り組んでいる地域もあります。まずは、農作業安全を話題にすることから始めてみましょう。
- また、全国で約3,700人の「農作業安全に関する指導者」が農作業安全を推進しています。各地域の「農作業安全に関する指導者」に相談しながら取組を進めてみてはいかがでしょうか。

9月に発生した農作業死傷事故
11月のワンポイント

令和4年農作業安全確認運動
しめよう！シートベルト

農作業安全に関する話し合いの一例

- 次のことを農業者同士で共有
 - ・それぞれの農業者の危険体験
 - ・地域における危険箇所
 - ・安全上、心がけていること、取り組んでいることなど
- 農作業安全の確保に向けた対応策の検討など



イメージ図

地域での活動のヒントについては、「防ごう！農作業事故地域活動マニュアル」に掲載されています。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryu.html#manual

「農作業安全に関する指導者」の一覧

※ 普及指導員などの自治体職員やJAの職員、農業機械メーカー・販売店の従業員等が、農作業安全に関する指導者になっています。

お住まいの地域の「農作業安全に関する指導者」の確認はこちらから



<https://www.nitinoki.or.jp/bloc3/safetytr/index.html>

(一社)日本農業機械化協会HPに掲載